

**「美馬市生涯活躍のまち推進会議」
平成28年度第1回会議**

日 時 平成29年3月29日（水）
午後2時から
場 所 穴吹農村環境改善センター
1階 多目的ホール

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

4 議 事

(1) 「美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン」の改訂について

(2) 「移住促進拠点」運営事業者の公募等について

5 その他

6 閉 会

美馬市生涯活躍のまち推進会議委員名簿

氏 名	所 属 等	役 職
中 岡 泰 子	四国大学生生活科学部生活科学科 教授	委 員 長
小 山 高 弘	徳島県保健福祉部長寿いきがい課 係長	
大 塚 二 朗	徳島県西部総合県民局企画振興部 部長	
谷 口 博 美	一般社団法人美馬市医師会 会長	
梶 浦 豊 子	社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 会長	
徳 山 直 人	四国大学SUDA c h i 推進室地域連携コーディネーター(西部地区スーパーサテライトオフィス)	
北 岡 武 義	美馬市シニアパワー推進協議会 副会長 徳島県シルバー大学校美馬校OB会連合会 顧問	
佐 藤 達 郎	特定非営利活動法人うだつコミュニティースポーツクラブ 会長	
高 木 将 樹	株式会社阿波銀行脇町支店 支店長	
加 村 大 典	株式会社徳島銀行脇町支店 支店長	
藤 本 実	公益社団法人徳島県建築士会美馬地域会 副会長	
佐 藤 賛 治	美馬市自治会連絡協議会 副会長 (脇町地区)	副委員長
西 口 善 広	小星自治会 会長	
中 野 耕 次 郎	小星廻りおどり保存会 会長 (小星自治会から推薦を受けた者)	
上 田 薫	社会福祉法人徳島県身体障害者連合会 障害者支援施設 小星園 園長	
津 川 史 郎	社会福祉法人徳島県手をつなぐ育成会 障害者支援施設 ルキーナ・うだつ 施設長	
藤 川 一 郎	ふるさとわきまち株式会社 代表取締役	

報告（１） 前回会議（平成27年度第１回）以降の経過について

① 主なもの（協議、打合せを除く）

平成28年

- ・ 4月1日 地方創生推進総局 地方創生推進課 設置
アクティブ・ライフコーディネーターの配置
- ・ 4月21日 美馬市医師会第1回説明会（美馬リハビリテーション病院）
- ・ 4月22日 第1回美馬市生涯活躍のまちモデル事業運営協議会（市及び市社協）
- ・ 5月16日 市長（当時）辞職
- ・ 5月18日 改正地域再生法に係る四国ブロック相談会（高松サポート合同庁舎）
- ・ 5月27日 平成28年度美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会（市役所）
- ・ 6月2日 【国】生涯活躍のまち形成支援チーム（第2回）
支援チーム対象地方公共団体（先行事例）

岩手県雫石町、新潟県南魚沼市、石川県輪島市、山梨県都留市、
長野県佐久市、鳥取県南部町、福岡県北九州市 計7団体

- ・ 6月21日 新市長就任

次の3点を確認

- ①「美馬市生涯活躍のまち」構想については引き続き推進する。
- ②「美馬市生涯活躍のまち」モデル事業プランについても引き続き推進するが、十分時間をかけて進め、見直すべきところがあれば見直す。
- ③「地方創生加速化交付金」を活用し、中・高年の移住者を受け入れるための準備を進める。

- ・ 6月29日 サービス付き高齢者向け住宅整備事業説明会（高知新聞放送会館）
- ・ 7月19日 6月議会定例会開会
市長所信表明の中で推進方針を説明⇒代表質問（7/28）への答弁でも説明
- ・ 7月29日 【県】第1回「ゆかりの徳島」里帰り戦略会議（県庁）
- ・ 8月3日 美馬市生涯活躍のまち推進加速化支援業務委託契約締結
(パシフィックコンサルタンツ(株))
8月中～下旬 ⇒「美馬市生涯活躍のまち推進会議」委員へ推進方針説明
- ・ 9月5日 美馬市医師会第2回説明会（美馬リハビリテーション病院）
- ・ 9月21日 朝日放送（大阪）の番組「キャスターcast」で美馬市紹介
- ・ 9月22日 朝日放送（大阪）の番組「池上彰の未来塾」で美馬市紹介
- ・ 10月6日 【国】第3回 生涯活躍のまち（日本版CCRC）に関する各地域の意向等調査回答
- ・ 10月25日 「美馬市生涯活躍のまち」構想に係る小星地区説明会（小星集会所）
- ・ 10月29日 （一社）コミュニティネットワーク協会協議（生涯活躍のまち移住促進C）
- ・ 11月1日～2日 お試し移住ツアーの模擬ツアー（美馬市内）
- ・ 11月16日 平成28年度美馬市まち・ひと・しごと創生会議（穴吹農村環境改善C）

- ・ 11月25日 第2回日本版C C R C構想勉強会（T F Tビル）
- ・ 12月1日 四国大学と業務委託契約
 - ・ 「大学連携いきがい支援プログラム開発業務」
 - ・ 「健康維持支援プログラム開発」

平成29年

- ・ 1月12日 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局相談（中央合同庁舎8号館）
⇒ 1月下旬～2月中旬 「移住促進拠点」計画地に隣接（近接）する障害者支援施設と協議
- ・ 1月16日 シェア金沢視察（金沢市）
- ・ 1月25日 小星地区いきいきサロン協議（小星集会所）
- ・ 1月27日 健幸しこくヘルスケアシンポジウム2017（高松サンポート合同庁舎）
- ・ 2月2日 小星地区いきいきサロン（小星集会所）
- ・ 3月2日～3日 お試し移住ツアー（美馬市内）
- ・ 3月3日 小星地区いきいきサロン（小星集会所）
- ・ 3月14日 【県】第2回「ゆかりの徳島」里帰り戦略会議（グランヴィリオホテル）

② 行政視察受入れ対応

平成28年

- ・ 11月2日 福島県二本松市議会
- ・ 11月17日 秋田県秋田市議会
- ・ 11月22日 北海道芦別市議会

平成29年

- ・ 2月1日 埼玉県熊谷市議会
- ・ 2月10日 北海道砂川市議会

③ 移住フェア・相談会への参加

平成28年

- ・ 8月6日 ふるさと回帰フェア2016in大阪（大阪市）
- ・ 9月4日 第11回朝日U・Iターン相談会（大阪市）
- ・ 9月9日 徳島県移住相談会in大阪（大阪市）
- ・ 9月24日 中国四国もうひとつのふるさと探しフェアin大阪2016（大阪市）
- ・ 10月16日 とくしま移住セミナー・相談会（大阪市）
- ・ 10月22日 ふるさと回帰フェア2016（東京都千代田区）
- ・ 10月30日 四国暮らしフェアin東京2016（東京都千代田区）
- ・ 11月25日 ロングステイフェア2016（東京都江東区）

平成29年

- ・ 1月15日 J O I N移住・交流&地域おこしフェア（東京都江東区）
- ・ 3月5日 とくしま回帰セミナー（東京都千代田区）

※ 移住フェア・相談会での相談状況 45組54人

(参考)

移住フェア・相談会における「美馬市生涯活躍のまち」関連相談

【ふるさと回帰フェア2016in大阪】 〈H28. 8. 6〉

- ① 定年退職後の移住先を検討している。【50代男性】
- ② 車の運転が出来ないため、美馬市の公共交通機関が知りたい。 【60代男性】
- ③ 父親が美馬市で勤務していたことがあり、移住先として検討したい。
【60代男性】
- ④ 民宿がある地方へ行き、地域の人と雑談を交え、移住先を探したい。
【70代女性】

【第11回「朝日U・Iターン相談会」】 〈H28. 9. 4〉

- ⑤ 現在学習塾講師（英語担当）をしているが、数年後に定年退職を迎えることになる。定年退職後にこれまで自分が培ってきた能力を発揮できる場がほしい。
【50代男性】
- ⑥ 車の運転が出来ないため、美馬市の公共交通機関が知りたい。 【50代男性】

【徳島県移住相談会in大阪】 〈H28. 9. 9〉

- ⑦ 自らが営む事業が軌道に乗っており裕福な暮らしを送っているが、一人暮らしであるため人生に楽しみを感じない。田舎へ移住し地域の人と交流を持ちながら充実した人生を過ごしたい。また、移住後は生業としているマッサージをボランティアとして地域の人に提供することで地域の人が集まれる空間を作りたい。
【70代女性】

【中国四国もうひとつのふるさと探しフェアin大阪】 〈H28. 9. 24〉

- ⑧ 「美馬市生涯活躍のまち」がテレビ番組で紹介されていたが、想定地域内に活用出来る畑があるのか。もし畑があれば移住して農業をしたい。 【50代男性】
- ⑨ 時々、子どもや孫に訪ねてもらえる交通手段が整備されている地方へ移住し、田舎暮らしがしたい。 【50代女性】
- ⑩ 「美馬市生涯活躍のまち」に関心があり、購入可能な住宅が整備されるのであれば住宅を購入して移住（又は二地域居住）について前向きに検討したい。
【60代男性】

【とくしま移住セミナー・相談会】 〈H28. 10. 16〉

- ⑪ 田舎暮らしに関心があり、温暖で食べ物が美味しく、温泉がある地域を探している。
【50代女性】

【ふるさと回帰フェア2016】 〈H28. 10. 22〉

- ⑫ 「生涯活躍のまち」に関心があり、落ちついた生活をしながらアルバイト程度で農業を経験したい。 【70代男性】
- ⑬ 美馬市の「古宮村おこし」という任意団体に所属しており、美馬市の地域活性化に協力したい。活動をするために美馬市へ移住したいが、農林業を行うにあたって市の補助制度を知りたい。 【60代男性】

【四国暮らしフェアin東京2016】 〈H28. 10. 30〉

- ⑭ 2年後の定年退職をきっかけに地方へ移住したい。退職後に数年間は無収入となるため、何か仕事はしたいと思っている。 【50代男性】
- ⑮ 地方での生活を体験したいので、移住おためし住宅に興味がある。免許があるのでレンタカーで行ってみたい。 【50代男性】
- ⑯ 仕事で美馬市へ訪れたことがあり、移住を検討している。観光情報、地域情報、仕事の情報を知りたい。 【50代男性】

【JOIN移住・交流&地域おこしフェア】 〈H29. 1. 15〉

- ⑰ 地方のお試し移住ツアーについて興味がある。美馬市で開催される移住お試しツアーの内容を知りたい。 【60代女性】

【とくしま回帰セミナー】 〈H29. 3. 5〉

- ⑱ (シングルペアレント介護・看護人材定住促進事業について説明) 29年10月を目途に移住を検討。 【50代女性】
- ⑲ 自然の中で趣味を活かして生活したい。空き家と綺麗な水があるところで生活し、「養鯉、養アメゴ」などの趣味を満喫したい。家の周辺の状況の情報(田畑等)を知りたい。 【70代男性】

④ アクティブライフ・コーディネーター研修

平成28年

- ・ 4月21日 「生涯活躍のまち協議会」設立記念フォーラム(大阪大学)
- ・ 5月14・21・28日 第4回地域プロデューサー養成講座(東京家政学院大学)
- ・ 7月4日 「都留市移住・定住セミナー」(都留市)
- ・ 7月5・6日 スマートコミュニティ稲毛、ふるさと回帰支援センター見学
生涯活躍のまち移住促進センター、移住・交流情報ガーデン見学
- ・ 7月13日 CCRCセミナー「生涯活躍のまち」づくりに向けて(千葉銀行)
- ・ 7月20日 平成28年度高齢社会フォーラムin東京(東京都)
- ・ 9月7・8日 地域生活支援ワーカー研修会(東京タイム24)
- ・ 9月17日, 10月1日 シニアライフコーディネーター養成講座(明治薬科大学)
- ・ 10月4・5日 愛媛県「生涯活躍のまち」実践セミナー(愛媛県)
- ・ 10月7・14・21・28日, 11月4・11・18日 ライフプランアドバイザー養成講座
(ゲートシティ大崎・東京しごとセンター)
- ・ 10月15・29日, 11月12・26日 シニアライフコーディネーター養成講座(明治薬科大学)
- ・ 10月19・20日 生活支援コーディネーター研究協議会(全国社会福祉協議会灘尾ホール)
- ・ 10月30日 東京移住フェア

平成29年

- ・ 1月13日 NHKプレゼンテーション入門(NHK放送研修センター)
- ・ 1月16日 シェア金沢エリア視察見学(金沢市)
- ・ 3月7日 NHK実践!プレゼンテーションセミナー(NHK放送研修センター)
- ・ 3月18日 第5回地域プロデューサー養成講座プレフォーラム(東京家政学院大学)

報告（２） 関連事業の進捗状況について

1. シングルペアレント介護・看護人材定住促進事業（28年度予算額：8,250千円）

○ 助成金の対象要件

助成金の申請時において、次の①～④の要件をすべて満たし、かつ、⑤・⑥いずれかの要件を満たすことが必要。

- | |
|---|
| <p>① 徳島県外在住のシングルペアレントで、高校生以下の子どもと美馬市へ移住される方</p> <p>② 美馬市が登録する事業所（平成28年度：15施設）で就労を予定する方</p> <p>③ 美馬市に住民登録を行い、事業対象期間終了後も引き続き就労の意思がある方</p> <p>④ 認定申請時において年齢が62歳未満の方</p> <hr/> <p>〈資格をお持ちの方〉</p> <p>⑤ 登録事業所への就労を希望し、介護支援専門員、介護福祉士、看護師または准看護師資格を有する方</p> <p>〈資格をお持ちでない方〉</p> <p>⑥ 登録事業所への就労を希望し、介護職員初任者研修または実務者研修を受講済みの方。もしくは、受講する意思を有する方。</p> |
|---|

○ 助成金・給与

[市からの助成金の額]

- ① 家賃助成金 … 月額2万円（上限（実質負担額で民間賃貸住宅を対象））
- ② 養育助成金 … 月額3万円（定額）他の公的助成制度も利用可能
- ③ 転居支援金 … 18万円（引越し費用上限10万円、子どもの転入学に係る費用定額8万円を1回限り助成）

[事業所からの給与]

- ・ 給与額 … 月額15万円以上
（看護職の給与は別体系）

[その他]

- ・ 介護職員初任者研修の受講支援制度あり。
（市から事業所に費用の1/2を補助）

※ 11月21日～ 募集開始

※ 平成29年3月1日現在

相談件数：6件

登録シングルペアレント：1件

⇒ 次頁⑧の段階での事後登録。

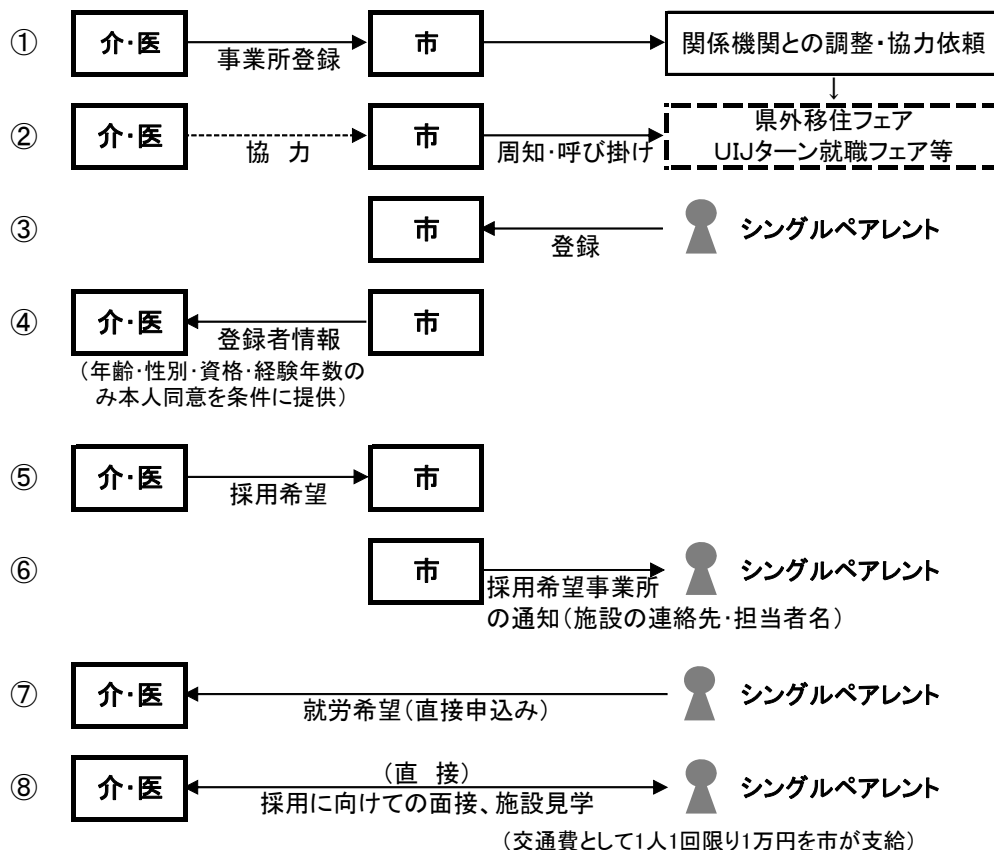
市内介護施設に採用が決定し、

4月から勤務予定。



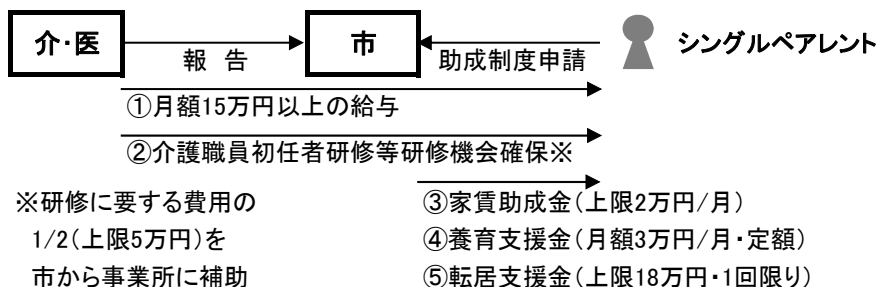
(参考)

美馬市シングルペアレント介護・看護人材定住促進事業の流れ



※ 条件を満たしたシングルペアレントを採用する場合、①～⑦のプロセスを省略し、⑧の段階で事後登録が可能。

〈採用後〉



2. まほろばファン倶楽部事業（28年度予算額：3,070千円）

美馬市出身者や美馬市とゆかりのある方々との“つながり”をつくり、「ふるさと
 回帰」につなげることを目的として「美馬市まほろばファン倶楽部」制度を開始。

会員獲得のため、同窓会開催支援や市内宿泊施設宿泊記念品の贈呈に取り組んだ。

① 会員資格

- 年齢が満20歳以上であること。
- 美馬市外に住民票を有していること
- 次のいずれかに該当していること
 - ・ 美馬市に住民票を有していた
 - ・ 美馬市内の小・中学校、高等学校または特別支援学校に在籍していた
 - ・ 美馬市内の事業所に勤務していた
 - ・ 美馬市にゆかりがある

② 会員特典

- 同窓会開催支援

市内で開催される同窓会について、会員1人あたり3,000円を主催者(幹事)に補助。

 - ※ 20人以上の参加者があり、会員が10人以上参加する同窓会が対象。
 - ※ 補助金の上限は、1回の同窓会につき30万円または実際に飲食店等へ支払った額。
 - ※ 補助金を支払うことができるのは、会員1人あたり年間1回限り。
- 市内宿泊施設宿泊記念品の贈呈（市内11宿泊施設を登録）
- イベント等の案内

美馬市出身者や美馬市とゆかりのある方々との“つながり”をつくり、「ふるさと回帰」につなげるため、
美馬市まほろばファン倶楽部制度を開始した。次の条件を満たす方にファン倶楽部の会員になつていただきます。同窓会開催時に**会員1人あたり3,000円**を主催者(幹事)へ補助します。

同窓会支援特典を利用いただけるまほろばファン倶楽部会員資格

次の①～③の全てに該当する方

- ① 年齢が満20歳以上であること
- ② 美馬市外に住民票を有していること
- ③ 美馬市内の小・中学校、高等学校または特別支援学校に在籍していたこと

特典を利用いただける同窓会の条件

- ① 美馬市内の小・中学校、高等学校または特別支援学校に在籍された方により、美馬市内の飲食店で開催される同窓会で、同一の学校等の学校、学年、99校または同窓会の単位で開催されるものが対象となります。
- ② **20人以上の参加者**があり、このうち**会員が10人以上**が参加する同窓会が対象となります。
- ③ 補助金の上限は、1回の同窓会につき30万円または実際に飲食店等へ支払った額^{※1}となります。
- ④ 補助金をお支払い^{※2}できるのは会員1人につき年間1回限りです。このため、会員が同一年度に別の同窓会へ参加された場合、「会員数10人以上」という条件に該当しますが、補助金のお支払いはできません。

※1 飲食店以外で開催した場合、美馬市内の会場を代表し美馬市内で購入して持ち込んだ飲食料金が対象です。
 ※2 主催者(幹事)に対して一括して補助金をお支払いします。このため、主催者(幹事)において交際費が発生する場合がありますので予めご了承ください。

お問い合わせ先 **美馬市役所地方創生推進課** Tel.0883-52-8129
 〒777-8577 美馬市美馬町7500-11(数字9区地5番地) E-mail:sousei@city.mima.lg.jp

※ 平成29年3月1日現在

- ・ 相談件数：81件
 (今年度申請見込み件数：2件)
 (来年度申請見込み件数：11件)
- ・ 申請済み件数：30件（うち実施済：29件）
- ・ 会員数：592人（うち県外：292人）
 (実施済み同窓会参加者958人中、会員519人)

3. その他移住・定住促進事業（補助・助成関係）

① 新婚世帯家賃補助事業（28年度予算額：7,200千円）

- 対象要件
 - ・平成27年4月1日以降に婚姻の届出をした新婚夫婦の一方であること
 - ・平成28年4月1日以降に本人名義で市内民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結しており、現に新婚夫婦が居住していること、など
- 補助金
 - ・補助金の額 …… 1世帯あたり月額上限2万円（年度末に一括して交付）
 - ・補助金の交付期間 …… 2年間

※ 平成29年3月1日現在 ・相談件数：54件、申請済み：17件
・年度内申請見込件数：（年度内）12件、（来年度）2件

② UIJターン促進奨学金返還支援事業（28年度予算額：3,000千円）

- 補助金の対象要件（次の全ての要件を満たすこと）
 - ・美馬市に住民票を有していること
 - ・高校・大学等に進学し、在学している期間に奨学金等の貸与を受けたこと
 - ・平成28年4月1日以降に奨学金等の返還を開始したこと
 - ・月賦、半年賦、年賦等により奨学金等の返還を行っていること
 - ・市税を滞納していないこと
 - ・暴力団員又は暴力団員密接関係者でないこと
 - ・国及び地方公共団体に正規雇用されていないこと
- 補助金
 - ・補助金の額 …… 年度内に返還すべき奨学金等返還金額の1/3（上限10万円）
 - ・交付期間 …… 5年間

※ 平成29年3月1日現在 ・相談件数：8件、申請見込み：2件、申請済み：5件

③ 高校生等地元就職応援事業（28年度予算額：7,000千円）

- 助成金の対象要件
 - ・市の住民基本台帳に登録されていること
 - ・高校在籍者または既卒者
 - ・助成金の交付決定を受けた日から5年以上美馬市に定住する意思があること
 - ・国及び地方公共団体に正規雇用されていないこと
- 助成金の額
 - ・対象経費 …… 自動車教習所教習料金
 - ・助成金の額 …… 美馬市内の事業所に正規雇用として内定(就職)：上限20万円
・ 県内(市外)の事業所に正規雇用として内定(就職)：上限10万円
- その他
 - ・内定段階で就業地が未定の場合等、高校等在籍中に助成額が決まらない場合は、卒業後に申請可（卒業後1年以内）

※ 平成29年3月1日現在 ・相談件数：42件、申請見込み：28件、申請済み：18件

4. お試し移住ツアー・移住プロモーション関係

(1) お試し移住ツアー

- 日 時 平成29年3月2日(木)～3日(金)
- 場 所 1日目：穴吹川周辺～うだつの町並み周辺～市内商業施設案内
～お試し移住ハウス見学～宿泊施設
2日目：四国三郎の郷～美馬体験交流の会での農業体験交流
～藍染め体験～市役所にて意見交換～終了
- 参 加 男性(69歳)、男性(55歳)、女性(52歳) 全員大阪府在住
- 主な意見
 - ・地域の特色・文化、生活感など実際に住まないとうからない情報が欲しい。
 - ・地元の人とどうとけこんでいくか、人間関係を築く接点がほしい。
 - ・今回のツアーでは観光的な要素はあまり要らない。生活の情報をもっと知りたかった。

(2) 移住プロモーション関係

	現物作成	(新)移住・定住促進 ホームページ掲載
移住パンフレット	○	○
移住ガイドブック	○	○
移住ポスター	○	
プロモーション映像	○	○
移住フェア出展ツール	○	
移住・定住施策紹介 (前頁の内容など)	○	○
企業ガイドブック	○	○



※ (新) 移住・定住促進ホームページ <http://www.city.mima.lg.jp/iju/>
⇒ 平成29年3月27日公開

議 事（１） 「美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン」の改訂について

別添 **資料1** 美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン改訂版

別添 **資料2** 「美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン」の改訂について

議 事（２） 「移住促進拠点」運営事業者の公募等について

1. 「移住促進拠点」運営事業者の公募について

○ スケジュール

平成29年4～6月	公 募
7月	事前協定
年内	本 協 定

○ 要 件

法人格を有し、居住サービスや生活支援サービスが提供できる団体

(モデル事業プラン改訂版P12)

その他、モデル事業プラン改訂版に沿って公募条件を設定

2. アクティブライフコーディネーターの養成と医療・介護連携による「地域包括ケアシステム」モデルの展開について

モデル事業プラン（改訂版）P18

4) 継続的なケア

モデルエリア内は医療・介護施設が充実しています。この特性を活かし、医療・介護が必要になったときに、人生の最終段階まで尊厳ある生活を送ることができる「継続的ケア」の体制を確保していきます。

具体的には、地域内の医療・介護施設と連携し、医療・介護が必要になっても地域に居住しつつ、本人が望むサービスを受けることができる体制を医師会と連携しながら整えていきます。

また、医療・介護サービスの入り口となる相談体制についても関係機関と調整しながら検討していきます。

別添**資料3** アクティブライフ・コーディネーターの養成と医療・介護連携による「地域包括ケアシステム」モデルの展開

3. 大学連携による「いきがい（健康維持）支援プログラム」の開発について

別添**資料4** 四国大学との連携による「いきがい支援プログラム」開発について